



報道資料／Press Release

2019年12月2日

報道関係者各位

MOTHER EARTH × エコマーク コラボレーション企画 「サステナブルコスメアワード」受賞商品決定について

自分にも地球にも優しいライフスタイルを提案するソーシャルアクティビストチーム“MOTHER EARTH” (<https://motherearthproject.jp/>) のメンバーと、(公財)日本環境協会 エコマーク事務局 (<https://www.ecomark.jp/>) のコラボレーションにより実施した「サステナブルコスメアワード」の受賞商品が決定しました。

<サステナブルコスメアワード受賞商品>

	会社名	ブランド名	商品
最優秀賞	株式会社ビオスタイル	NEMOHAMO	ブースターオイル(30mL)
岸紅子賞	株式会社クレコス	QUON	ビューティーアクチュアライザー
	株式会社ビオスタイル	NEMOHAMO	バランススキンローション(120mL): 本体/詰替用
大葉ナナコ賞	株式会社ネイチャーズウェイ	サンダース・ペリー	モイスチャークリーム R
	株式会社 AMRITARA	amritara	ハイビスカスチーク
小原壮太郎賞	一般社団法人エンジェルガーデン南国(南国にしがわ農園)	天海のしづくオーガニック	フィットシードオイル
	株式会社 SouGo カミツレ研究所	華密恋	薬用入浴剤
tarout 賞	株式会社三上	NATURALCOSMO	薔薇椿
	フロムファーイースト株式会社	みんなでみらいを	米ぬか美容オイル

※ 選考委員による選考のコメントは3ページから紹介しています。

特別賞 ※団体としての表彰

SDGs 推進賞 コスメ製造における SDGs 活動が特に優れている	サラヤ株式会社
ファイントイレタリー賞 家族みんなが日々の生活の中で気軽に使えるオーガニックアイテム	株式会社たかくら新産業

◇「サステナブルコスメアワード」について

コスメを通じた SDGs(持続可能な開発目標)の理念およびターゲットへの貢献や、商品に込めた想い・ストーリーなどを総合的に評価。8月15日より公募を開始し、選考委員会による厳正な審査を経て受賞商品を選定した。選考委員はソーシャルアクティビストチーム“MOTHER EARTH”のメンバーで、環境省「つなげよう、支えよう森里川海アンバサダー」である岸紅子氏、大葉ナナコ氏、小原壮太郎氏、tarout氏が務め、各賞が選ばれた。

2020年2月17日より、「サステナブルコスメアワード」の関連イベントとして、銀座ロフトにて、サステナブルコスメマーケット(仮称)を展開する予定。

「サステナブルコスメアワード」の詳細は、(公財)日本環境協会 エコマーク事務局のウェブサイトをご覧ください。(<https://www.ecomark.jp/sustainablecosmetic/>)

◇選考委員について



選考委員長 岸 紅子 氏
NPO 法人日本ホリスティックビューティ協会 代表理事

大学卒業後に起業。美容誌のコンセプターを経て、2006年NPO法人日本ホリスティックビューティ協会を設立。検定・セミナー・メディアを通じ、全国に心身の健康を育む知恵を広げている。

著書:『アレルギーっ子ママが気づいた親子のハッピーチョイス』(かざひの文庫)ほか多数。



大葉 ナナコ 氏
(公社)誕生学協会 代表理事／(株)パースセンス研究所 代表取締役

自尊感情を高めるいのちの教育プログラム「誕生学」が行政・学校・PTA・育児支援企業等に好評を博し、年間1,000~1,200校で授業を提供。少子化対策と女性活躍推進の両立支援事業、次世代育成のための官民各種プロジェクトにも参画。

著書:『キャリアと出産』(河出書房新社)ほか全26冊。



小原 壮太郎 氏
(MOTHER EARTH 事務局長)
(一社)the Organic 代表理事／全国有機農業推進協議会 理事

広告会社勤務を経て、アントニオ猪木氏のプロレス団体IGFの代表取締役副社長就任を契機に、様々な企業経営を経験。2008年の猪木氏北朝鮮来訪同行を契機に農業問題改善に目覚め、2013年にオーガニックの普及啓発推進活動「the Organic」を立ち上げ、生産者や企業・地域へのコンサルティングに取り組む。



tarout (タロアウト) 氏
キャラクターアーティスト

それぞれの作品に、ひとつひとつ愛情あふれるストーリーが設定されていて「キャラクターを誕生させる」という感覚だというその世界観は日本のみならず海外でも絶大な人気を誇る。

代表作は「Dior」ファインジュエリー・ゴルメットちゃんや Paul Smith, Starbucks Coffee Japan, Nike+・ランランらん、ジョンマスターオーガニックなど。

◇ロゴマークについて



「サステナブルコスメアワード」のシンボルマークを、キャラクターアーティストの tarout 氏がデザインしてくださいました。

地球環境のサステナビリティをイメージし、地球と、循環する様とサステナビリティの頭文字 S をモチーフに加えたものとなっています。

受賞商品は、このロゴマークを製品・包装・販促物等に使用することができます。

◇選考委員による選考のコメント

最優秀賞

株式会社ビオスタイル／NEMOHAMO ブースターオイル(30mL)

有機 JAS 認証を取得した自社農園と山林を所有し、原料から製造工程・販売までの全てのプロセスを明らかにして
いてトレーサビリティを徹底している。

化粧箱や製品説明書にバガス(サトウキビ絞りかす由来の非木材紙)を使用したり、輸送時の段ボールをリサイクル
するなど、環境への配慮を包括的に行なっている。

抽出溶媒(キャリアオーバー成分)を含め石油由来原料不使用、遺伝子組み換え原料不使用、また生分解性に優れ
た原料のみを使用し、人体と生態系に最大限配慮している。

ほとんどの原料を国産でまかない、国内製造を行っている。

こうしたサステイナブルなモノづくりをしている上に、オイル→化粧水→美容液という使い順もユニークで化粧品として
の楽しさや効果感が評価できる。そのシグニチャーとしてのブースターオイルを今回は大賞に選ばせていただいた。

岸紅子賞

株式会社クレコス／QUON ビューティーアクチュアライザー

母体のクレコス社は、単に化粧品を作っているのではなく、農業・林業・福祉と深く結びつき、製品を通じての社会貢
献を長年行われているまさに社会派化粧品企業。高い生産技術と環境配慮を国内自社工場で実現しているという点
でも、日本のオーガニックコスメの代表にふさわしい。本製品は、肥料も農薬も使わないワイルドクラフトの大和茶を
主成分に、国産のオーガニック原料を使用しており、自然の恵みが見事に引き出され凝縮されている。その上、香り
やテクスチャーのクオリティも精緻に計算されていて心地よい。

株式会社ビオスタイル／NEMOHAMO バランススキンローション(120mL):本体/詰替用

根も、葉も、茎も、花も、実も植物を丸ごと使い「効く」オーガニックコスメを、というコンセプトで、植物の力をあますと
ころなく使っている。防腐剤、増粘剤はおろか、水さえ一滴も使わない植物生体水(植物を絞って出る水分)100%の
ローションは、画期的。現代人にありがちな不安定な肌の調子を整える植物成分として、国産オーガニックのヨモギと
アカシソを使用している。リフィル型の化粧水容器も珍しく、環境配慮が行き届いている。

大葉ナナコ賞

株式会社ネイチャーズウェイ／サンダース・ペリーモイスチャークリーム R

寒天を原材料としたオールインワン、見事な素材への着目と製造工程を実現されました。使い心地も香りも、肌に負
担がなく、R50 の世代に嬉しい、長時間つづく保湿力がありました。原材料のユニークさと期待される作用を実現す
る技術、ボックスのエレガンスな印象も、五感に届きます。専門性の高いオーガニックコスメ探究の賜物といえる製品
です。

株式会社 AMRITARA／amritara ハイビスカスチーク

花の色素をチークカラーとする、素晴らしい開発力と、植物の力を信じるプロ意識に感銘を受けました。原材料えら
びやコンセプト、製造過程の透明性など、オーガニックコスメ製品の中でもリーダーシップをとるのにふさわしいと感じ
ました。花の色をそのまま頬紅の色素とする技術は、今後コスメ界で広く真似されてほしいと思いました。

小原壮太郎賞

一般社団法人 エンジェルガーデン南国（南国にしがわ農園）／天海のしずくオーガニックフィットシードオイル

エントリーシートを拝見し『農福連携』+『有機 JAS・自然栽培』という概要を見ただけでも SDGs 達成に向けた優れた取り組みであると感じましたが、資料を読み進めていくと、その想いや成り立ちの歴史背景に心を動かされるものがあり「ぜひ使ってみたい！」と思いました。実際にオイルを使用してみると、テクスチャーも使用感も納得のいく”本物”でした。こんな商品が世の中に増えていったらきっと未来はより Happy になる！と思い選考させていただきました。

株式会社 SouGo カミツレ研究所／華密恋 薬用入浴剤

自社農園と国内契約農家で栽培された有機 JAS 認証ジャーマンカモミールのみでできた入浴剤、という唯一無二の商品で、使用感は肌に心地よく、香りも究極の癒やし系で、毎日こういうお風呂に入れたら幸せだなあ、と思える商品でした。35 年以上のロングセラー商品であるということもうなずける品質、且つ、自ら有機管理でカモミールを栽培・加工して商品を作っていること、さらには国内発の BIO ホテル認証ホテルを農場に設け、そこでも提供しているという点も含め、SDGs 時代の新しいビジネスの在り方を垣間見た気がします。

tarout 賞

株式会社三上／NATURALCOSMO 薔薇椿

まず手にとってもらえるって、とても大事なことだと思うんです。「あ、可愛いな」と手にした製品に、実は素敵な背景や、こだわった中身がある。そして、それが更に、地球環境にも良いことに繋がっている。コスメティックスの世界では、特にそんな軽やかな気持ちの流れが大切なんじゃないかなと、気づかせてくれる製品です。10年後より先のことを考えていることも素晴らしいです。

フロムファーイースト株式会社／みんなでみらいを 米ぬか美容オイル

社会は使い捨てのシステムから循環するシステムへ変わっています。これまで捨てていたものを原料に、循環どころかアップサイクルしていく、そんな循環の輪に自分も気づけば加わっている。一製品によってそれがシンプルに伝わるのは強いです。製品のことが気になってウェブサイトを訪ねると、なぜかアクセサリーが並ぶ。説明を読むとなんと元は薬莢で、それを手作業で平和なアクセサリーにしているという。もう、ヤバいですよね。

＜本件に関するお問い合わせ＞
(公財)日本環境協会「サステナブルコスメアワード」運営事務局
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMM ビル 5 階
TEL: 03-5829-6286 E-mail: sustainablecosme@ecomark.jp